



# 公明市議会ニュース

発行所：公明党川崎市議団 住所：川崎区宮本町1 TEL 044-200-3361 発行人：菅原 進 編集人：後藤 晶一

## 第5回定例会 代表質問

花輪孝一議員は、公明党市議団を代表し、昨年12月7日に質問に立ち、議案及び市政一般24項目について質問しました。特に防災面や教育・子育て支援、福祉や地域振興など、生活者の立場で具体的な政策提言を行いました。

## 災害に負けない街づくりの推進を！



質問に立つ花輪議員

被災地からの瓦礫受入問題について取り上げ、瓦礫の搬送・分別時のアスベスト飛散防止策や放射線対策を万全なものにすべきと主張。その運搬方法（海上輸送の可能性）や受入量（年間1.9万t）についても質しました。

市長は、早く被災地が復興できるように、安全性の確保を前提に、受入について前向きに検討を進めていると答弁。運搬方法や受入量についても、今後、具体的に検討していくとのことでした。

また、防災対策を進めていく中で、女性の視点の尊重や津波対策、帰宅難民対策（企業備蓄の推進）などにも言及し、市側



被災地の瓦礫の山

から前向きな回答を得ました。

今後、防災計画や備蓄計画の見直しが年度末までに実施される予定です。

## 京浜臨海部 国際戦略総合特区に指定！！



特区の中核となる実中研再生医療・新薬開発センター

神奈川県・横浜市と共同で申請した「京浜臨海部ライフイノベーション国際戦略総合特区」が、公明党の積極的な推進もあり、昨年12月22日に国から決定通知がありました。

特区指定によるメリットや今後の取り組みについて質しました。

市からは「特区としてさまざまな規制緩和措置が受けられるようになり、市内先進企業等がこれらを利用することにより、革新的医薬品の開発や医療機器の実用化などが見込まれ、臨海部の持続的発展が期待される」との答弁がありました。

今後は研究機関の誘致や体制強化、環境整備に取り組みます。

## 中学校完全給食の実施を！

昨年11月1日から15日までの期間、川崎市立中学校の保護者約800人を対象に、中学校給食に関するアンケート調査を行い、その結果を基に中学校の完全給食実現を主張しました。また、現行の昼食時間（約15分間）についても強く改善を求めました。

市側は、「家庭からのお弁当を基本とする」との姿

勢は変えませんでした。保護者の負担感や現行のランチサービスの問題点等の指摘については、前向きに対応することを表明しました。

なお、昼食の時間に関して、「より有効な時間の活用について検討を行っていく」旨の回答がありました。